

【参考】高知県少子化対策推進県民会議の役割の移行について

R7年度共働き・共育て推進会議

「子育て・ワークライフバランス」の県民運動の役割を、「共働き・共育て推進会議」に移行し、男性育休の取得促進を原動力に、「共働き・共育て」の県民運動を強力に推進しています。

概要

【目的】「共働き・共育て」の生活スタイルのさらなる普及に向けて、県や市町村、企業、団体などが「オール高知」で知恵を出し合い、共に取り組むため、官民協働の「共働き・共育て推進会議」を設立

【日時】令和7年9月11日(木)

【参加者】「共働き・共育て」推進のこうち共同宣言29団体の代表者
【議事】

人口減少対策の必要性や最新の男性育休取得率について、県からご説明し、「共働き・共育て推進のこうち共同宣言団体」の皆さまと県民運動の進め方に関する意見交換を行いました。



共働き・共育てロゴ



男性育休推進企業ロゴ



高知県共働き・共育て特設サイト <http://www.pref.kochi.lg.jp/buntanfuufu/>

高知県若者応援産学官フォーラム 出会い促進分科会

「出会い・結婚支援」の役割を、「出会い促進分科会」に移行し、若者と知事等との座談会や異業種交流会の開催により、若者の交流促進に取り組んでいます。

若者と知事等との座談会

【日時】令和7年10月27日(月)

【参加者】濱田知事、高知県商工会議所連合会西山会頭、桑名高知市長(市長会)、上村北川村長(町村会)、県民6名(UIターン移住者)

【テーマ】『若者が高知で暮らし、高知で子育てしたくなるような高知県について』

【参加者からの主なご意見】

- ・自然や温かい風土感、地域で安心して子育てできる環境など高知県は魅力が多い。
- ・県民が高知の魅力を認識して、もっと高知を好きになってほしい。
- ・移住への大きな課題は給与面と仕事のマッチング。
- ・子育て環境としては、室内で遊べる場所が限られている。など



異業種交流会

令和8年2月の開催に向けて協議をしています。